



# 笑顔と感動にあふれた2日間 32,000人が集結

気温が28度を超え夏のような日差しの中、4月21日(土)と22日(日)の両日、アイドルグループ・ももいろクローバーZ(ももクロ)の野外ライブ「ももクロ春の一大事2018 in 東近江市」が布引運動公園陸上競技場で開催され、全国から2日間ですべて3万2千人を超えるモノファン(ファン)が集結しました。



布引運動公園陸上競技場多目的グラウンドにステージが生まれ、ももクロとバックコーラスを務めた子どもたちの歌声が会場を包み込みました。

■「笑顔のバトン」を引き継ぐ  
21日にはステージ上で、昨年「ももクロ春の一大事」を開催した埼玉県富士見市の星野光弘市長から小椋正清市長へ「笑顔のバトン」が手渡されました。

■市民とのコラボレーション

午後4時、小椋市長の開会宣言でライブがスタート。開演前に「ライブをきっかけにまちの魅力を知ってもらい、地域の人と人とのつながりの架け橋になりたい。」と話していたももクロの登場とともに、会場は熱気に包まれました。ライブの中盤には、市内の小学4年生から6年生までの両日あわせて371人が、春をイメージした曲を合唱し、ももクロの歌「希望の向こうへ」ではバックコーラスを務めました。また、市内のダンススクールに通う子どもたち25人が、バックダンサーとしてステージを盛り上げました。

■笑顔のチカラ つなげるオモイ

「歌の練習を頑張りました。こんな大勢の人を見たのは初めて。東近江市でできてよかった。」と合唱に参加した村井心さん(玉緒小5年生)。

お子さんが合唱に参加した小西栄子さん(大森町)は、「親子で楽しめました。子どもたちが、ももクロと一緒にこんな大きなステージに立ってるなんて二度ないこと。東近江市に住んでいてよかった。」と話しました。

モノノフの皆さんも東近江市でのライブに参加して、「楽しかった。」「近江牛をぜひ食べて帰りたい。」「ゆっくり観光したい。」などと笑顔で答え、東近江市の魅力を知ってもらったきっかけとなりました。

また、翌週に開催された「びわこジャズ東近江」の出演者によるジャズの生演奏がステージ上で披露されたほか、会場周辺ではさまざまなイベントが行われ、物産やコラボ商品の販売ブースなども大盛況でした。

イベント開催にあたり、市民の皆さんには交通規制などご協力いただきありがとうございます。このイベントで生まれたつながりを生かし、今後も市の魅力を全国に発信できるように取り組みます。

■観光物産課

☎ 0748-24-5662  
IP 050-5801-5662  
FAX 0748-23-8292

■当日の様子を市ホームページでも公開しています。ぜひご覧ください。

QRコードからホームページに簡単にアクセスできます



①左から佐々木彩夏さん、ももたか なこ、たまいしおり、たかぎ ②ももクロバージョンの飛び出し坊やと一緒に ③・⑤ステージ上でももクロと子どもたちとのふれあい ④ライブ終了後、余韻が残る中、笑顔の皆さん ⑥赤レンジャイと決めポーズ! ⑦黄昏時の光の中で熱唱



ライブ会場の外も大勢の人でにぎわう



ももクロとバックダンサーの子どもたちの息もバッチリ!!



「びわこジャズ東近江」の出演者もステージで演奏



「笑顔のバトン」を引き継いだ星野市長と小椋市長